

授業科目名	日本語総合演習Ⅱ	科目コード	G0502L10
英文名	Integrated Japanese II		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 日本語科目		
------	--------------------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	才田 春夫
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	3限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	この科目は、日本語能力試験1級（N1）を目指す留学生が対象です。集中講義によって集中的な演習を行ない、特に文字と語彙、文法、聴解、読解の面で確実に日本語が使える力を伸ばしていきます。			
-------	---	--	--	--

キーワード	N1	文字・語彙	聴解	読解	集中的演習
-------	----	-------	----	----	-------

到達目標	N2のレベルに基づいて、N1マスターのための学習			
	この科目の集中的演習を通して、以後、自律的で継続的な学習を進めること			

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	留学生の日本語能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	レベルチェックとフィードバック	
	【予習】テスト勉強（昨年使ったテキストを読んでくる）	30分
	【復習】テストでできなかった箇所の復習と暗記	60分
第2回	文字・語彙（多義語）・聴解（音声の特徴に慣れる）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第3回	文法（関係・無関係・様子）・読解（全体をつかむ）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第4回	文字・語彙（多義語）・聴解（即時応答）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第5回	文法（付随行動・逆説）・読解（広告）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第6回	文字・語彙（類義語）・聴解（即時応答）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第7回	文法（条件・逆説条件）・読解（お知らせ）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第8回	文字・語彙（形が似ている言葉）・聴解（課題理解）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第9回	文法（目的・手段・原因・理由）・読解（説明書き）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分

第10回	文字・語彙（副詞）・聴解（ポイント理解）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第11回	文法（可能・不可能・禁止）・読解（表・リスト）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第12回	文字・語彙（慣用表現）・聴解（概要理解）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第13回	文法（比較・対照）・読解（長文）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第14回	文字・語彙（語形成）・聴解（統合理解）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第15回	文法（主張・断定・評価）・読解（長文）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第16回	模擬テスト	
	【予習】	40分
	【復習】	60分

評価方法	熱心な参加を前提として、演習の成果（毎回の小テスト）と模擬試験によって連続的、総合的に評価します。		
使用資料 <テキスト>	プリント教材配付	使用資料 <参考図書>	辞書、ノート、普段使っている文法書を持参のこと。
授業外学修等	(1)家庭学習によって十分復習する必要があります。 (2)不確実なものは自分で調べ、確実に覚えることを求めます。		
授業外質問方法	研究室へ		
オフィス・アワー	木曜1限、435研究室		